

2025 年 8 月 19 日

各 位

株式会社王将フードサービス

全国の子ども食堂等への「お子様弁当」無償提供が 累計で 100 万食を超えました

株式会社王将フードサービスは、2021 年の新型コロナウイルス感染が拡大した時期、学校給食がなくなる長期休みは子どもの栄養状態が悪化する可能性が高いとの調査結果があることを受け、「こども食堂サポートセンター(運営:一般社団法人全国食支援活動協力会)」にご協力いただき、子どもたちへの食事支援活動(「お子様弁当」の無償提供)を開始いたしました。

その後も継続して実施し、諸物価の上昇により生活に困窮する世帯が増加しているとの報道がある中、多くの方からこの取組みへの賛同をいただき、回を重ねるごとに規模を拡大してまいりました。そして、「お子様弁当」の無償提供数は、初回の 2021 年夏休み期間の 3 万 2 千食に対し、13 回目となる今回、2025 年夏休み期間は 15 万食超と約 5 倍となり、累計で 100 万食、金額にして 3 億円に達しました。提供している全国の子ども食堂等の団体数も、初回の 377 団体から 1,988 団体まで増加いたしております。

この取組みは、『餃子の王将』全国の店舗、工場、本社の従業員が加わる全員参加型の活動で、当社従業員は、“美味しい料理”と“心温まる接客”によって、子どもたちを元気に・笑顔にする活動であることに誇りを持っています。

今後もこの取組みを通じて地域との関わりを持ち、さらに地域の方に愛され必要とされる『餃子の王将』となれるよう、全従業員が一丸となって、この活動を推進してまいります。

<「お子様弁当」の内容>



ライス(中)



餃子 2 個、鶏の唐揚げ 2 個、



※イメージ画像

シャウエッセン® 2 本



カルピスウォーター® 1 本
(アサヒ飲料株式会社様ご協賛)

～これまでに当社に寄せられたお声のご紹介～

＜ご利用者様＞ 母子支援施設で暮らしているシングルマザーです。本日王将の食品提供をいただきました。毎日毎日フルタイムで働いて発達障害のある子どもを育てています。今日はどうしようもなくへトへトでしたが、王将の優しさに救われました。息子と2人で笑って仲良く食べ1日を終わられそうです。

＜A 団体運営者様＞ 「お米を買うお金がない」「食事を減らした」など、生活困窮家庭からは悲痛な相談が寄せられます。こういう状況を受け、子ども達も食事が十分ではありません。特に、夏休みや春休みなどの長期休暇は、学校給食もなく、食べない子ども達も多くいます。そうした中、お弁当をご寄付頂けることは大変ありがたいです。子ども達は「餃子の王将」は大好きです。とても楽しみにしています。皆様からの温かいご寄付で、多くのご家庭・子ども達が救われています。

＜B 団体運営者様＞ 食事を提供するには、多くの労力と人手、お金も必要なため、子ども食堂は開催頻度を制限せざるを得ない状況でした。そんな中、今回、春休みの子ども食堂を開催できたのは、王将フードサービス様のご協力があったことでした。また、受取の際も、店舗スタッフの皆様が、総出でお弁当の準備も整えてくださっており、荷物の運び出しまでお手伝いいただけたとのことで、受取スタッフも大変感激しておりました。温かく迎えてくださり、ありがとうございました。

(※お声は原文通り掲載しております)

～当社従業員はこの全員参加型の活動に情熱をもって取り組んでいます～



せじスマイル食堂様（京都府）

当社はサステナビリティに向けた活動の一環として、また、食を通じて社会に貢献していく企業として、子どもたちの今と未来を支援する活動に、引き続き全力で取り組んでまいります。

＜関連する SDGs＞



【お問い合わせ先：子ども食堂等関係者の方】

「こども食堂サポートセンター」（担当：平野、倉方） Tel 03-5426-2547 / Mail saposen@mow.jp

【お問い合わせ先：報道関係者の方】

株式会社王将フードサービス （広報 IR 部 加藤） Tel 080-7297-0292 / Mail ir@ohsho.co.jp